平成３０年度　第１回

# 中津川市社会教育委員の会（兼）公民館運営審議会

平成３０年７月１９日（木）午後７時００分
中津川市役所４階大会議室

１　開会

２　委嘱書交付

３　あいさつ

中津川市文化スポーツ部長

４　議題

（１）役員選出

会長・副会長の選出について

（２）報告

平成３０年度中津川市文化スポーツ部の方針と重点（資料１）

平成３０年度公民館の重点方針・事業について（資料２）

（３）協議事項

平成３０年度中津川市社会教育推進の方針と重点及び社会教育委員の役割について（案）

中津川市公民館事業評価について（案）

５　閉会

資料１

# 平成 30 年度

# 中津川市文化スポーツ部の方針と重点

中津川市文化スポーツ部

ライフスタイルや価値観の多様化が進んでいる現代社会では、いつでも、どこでも、楽しく、みずから生涯学びつづけ、人と人との絆を深めながら、生きがいのある人生を過ごし、自己実現を図ることが大切である。

すべての市民がいきいきと活躍できるまちをつくるため、『学び、活かす市民』を将来像として目指す文化スポーツ部の方針と重点を次のとおり定める。

## 方　　針

**“いきいきとした人づくり”を実現する“まち”中津川**

**『学び、活かす市民』づくりを目標に、「読書」による人づくり、「一市民１スポーツ」による人づくり、「ふるさと」に誇りをもつ人づくりを推進し、市民の一人ひとりが読書活動や文化活動等を通じて学び続ける生涯学習社会、豊かなスポーツライフ社会を実現する。**

１．市民一人ひとりが心豊かな生活をおくるために多様な学習・文化・スポーツに取り組む機会の創出を図り、地域で活躍する人づくりや出番づくりを推進する。

２．市民が自主的に生き生きと生涯学習・文化・スポーツ活動に取り組むことができるよう、環境整備を推進する。

３．市民協働により公民館、図書館、博物館、文化施設、スポーツ施設等の運営や事業実施の取組を推進する。

４．いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめる環境を充実し、ボランティアとの協働により読書活動を推進する。

５．市が提唱する「８万人のヘルスアップ」と連携し、スポーツ活動による健康づくりにより、スポーツ実施率向上を推進する。

６．「リニアのホームタウンなかつがわ」の魅力を発信するため、ここにしかない文化財の保存、活用及び継承並びに地域の文化芸術活動の支援及び育成を推進する。

７．まちづくり人づくりの拠点となる公民館を活性化するため、地域の人材を発掘、育成し、住民主体による公民館運営を推進する。

# 重　　点

## Ⅰ　生涯学習の振興

**【教育・生涯学習環境の整備】**

**■市民の学習活動のための環境整備**

・阿木公民館（阿木交流センター：仮称）の改築事業

・指定管理等による社会教育施設の効率的な運営

**【教育内容・生涯学習内容の充実】**

**■学び、活かす楽しい学習**

・各公民館において、「地域づくり型講座」を中心に、市民の自主的な学習活動の充実に向け、様々な生涯学習機会の提供と講座の開催

・より質の高く幅広い学習機会を提供するため、市民力を活用した講座の開催

・サークルや団体活動の PR 機会を創出することによる市民の活動参加の契機と団体間の連携・協力の推進

**■親子が幸せに育つ家庭教育**

・各公民館での乳幼児学級の開催

・小中学校での家庭教育支援事業の実施

・子育てサポーターの育成と派遣

・家庭教育推進会議の開催

・家庭教育支援員の配置

**■未来を切り拓く子どもたちの育成（青少年の健全育成）**

・青少年健全育成推進市民会議を中心にした行事や教室の開催

・補導活動や悩みごと電話相談、環境浄化事業の展開

・ジュニアリーダーの育成

・地域行事への参画の推進

・夏休み子ども講座の開設

・放課後子ども教室の実施

**【市民が参加する教育体制の整備】**

**■活力ある地域づくりの推進**

・地域づくり活動や生涯学習活動を担うコーディネーターやサポーターの育成

・地域住民による公民館の指定管理推進

・運営委員会等による公民館事業の活性化

**■ボランティアの支援と協働推進**

・子育てサポーター養成講座の開催

・スポーツ行事へのボランティア参加の機会創出

・サポーターポイント制度のＰＲと活用の促進

**■国際・国内交流の推進**

・中学生海外派遣研修事業の実施
・姉妹都市友好推進事業（レジストロ市への渡伯）の実施
・国内外交流の継続による友好・親善・相互理解
・国際交流団体の活動支援

## Ⅱ　読書活動の推進

**【教育・生涯学習環境の整備】**

**■全市民が等しく享受できる読書環境整備**

・「全市でひとつの大きな図書館」という考えに立った、資料収集と利活用の充実、各地域公民館図書室等の特色を活かした環境整備
・いつでも、どこでも、だれでも等しく読書に親しめるよう、情報ネットワークによる窓口サービスや配本ネットワークによる資料サービスを展開
・市内の各地域における図書館サービスをすすめるための、司書による巡回と地域公民館との連携の充実

**【教育内容・生涯学習内容の充実】**

**■人づくりにつながる読書活動**

・「学び、活かす市民」を実現するための読書活動の推進
・第二次「子ども読書活動推進計画」の策定
・０歳から１００歳まで各年代に対応した読み聞かせ会、お話会、講座、講演会、イベント等、「市民と図書館」、「市民と資料」、「市民と市民」を結びつける事業の開催による人づくり

**【市民が参加する教育体制の整備】**

**■ボランティアの支援と協働推進**

・講座開催によるブックサポーターの育成継続
・市民一人ひとりの生きがいにつながるボランティア活動の場づくりと幅広い市民協働による図書館運営

## Ⅲ　文化の振興

**【教育・生涯学習環境の整備】**

**■人づくり、まちづくりに活かす文化施設の再編と整備**

・中心市街地活性化基本計画に美術館、歴史資料館等機能の具体化
・優れた舞台芸術等の鑑賞や市民の文化活動の発表の場となる文化施設の効率的な運営

**■市の特色を活かした歴史文化資源の整備**

・観光活用につながる国指定史跡「苗木城跡」を中心とした文化財の整備、公開

・指定文化財の保存整備、歴史資料の調査及び公開並びに天然記念物の環境保全
・芝居小屋(明治座、常盤座)の保存管理と公開等による施設の有効活用

**【教育内容・生涯学習内容の充実】**

**■学び、活かす楽しい学習**

・博物館等各館での特色のある講座、教室等の開催
・博物館等の所蔵資料を活用した小中学校への出前授業
・博物館等での特色ある企画展開催、教育活動及び広報の充実による入館者確保

**■守り・育てる中津川の文化**

・文楽、地歌舞伎等の伝統芸能活動の支援と指導者となる人材育成
・県伝統芸能協議会が開催する公演会への参加
・郷土の先人を顕彰するため、第 12 回島崎藤村記念文芸祭の開催、第 8 回前田青邨記念大賞の開催
・市民の創作活動発表の場としての第 67 回市民展の開催
・文化活動に対する意欲や技術の向上を図るための各地域の文化協会や各種団体活動の支援
・市民の文化レベルの向上を図るため市民文化芸術鑑賞事業の実施
・青木斧戸線工事にともなう埋蔵文化財の発掘調査
・博物館等における多様な学習機会提供のため、中津川市史中巻等近世歴史資料の WEB データを活用した企画展の開催
・博物館等での収蔵資料のデータベース化を進め、後世に伝承できる博物館等の構築

**【市民が参加する教育体制の整備】**

**■ボランティアの支援と協働推進**

・古文書調査など郷土資料調査を進める人材や史跡案内ボランティアなどの人材の育成支援
・博物館友の会等やボランティア活動の充実及び身近で楽しめる博物館活動の展開による「参加する博物館」・「開かれた博物館」の推進

**■ふるさとの絆を深める事業**

・市民が郷土の歴史や文化などに触れ、ふるさとへの愛着を深めるための文化ツアーや出前講座の継続

## Ⅳ　スポーツの推進

**【教育・生涯学習環境の整備】**

**■スポーツ施設の効果的な運営と施設の整備**

・健康づくりと体力の維持、増進を図るため、地域住民と連携した各地区にウォーキング・ジョギングコースの設定

・市有財産（施設）運用管理マスタープランに基づくスポーツ施設の統廃合や地域移譲の調整
・地域の健康づくりの拠点となるスポーツ施設の指定管理等による効率的運営

**【教育内容・生涯学習内容の充実】**

**■健康で、ライフステージに応じたスポーツ**

・スポーツフェスティバルの開催及び「８万人のヘルスアップ事業」と連携したウォーキングやレクリエーションスポーツなど、身近な生涯スポーツの推進・普及によるスポーツ実施率の向上
・地域活性化とスポーツの推進及び絆づくりを図るため「清流木曽川中津川リレーマラソン大会」の継続と開催支援
・「夢の教室」と「子ども金メダル」事業の継続による、子どもたちの夢を実現する取り組みを支援
・市内外のトップアスリート招致による競技力の向上

**【市民が参加する教育体制の整備】**

**■ふるさとの絆を深める事業**

・地域のスポーツ団体との連携強化
・各地域におけるスポーツ教室・行事などを通じた地域コミュニティづくり
・総合型地域スポーツクラブを中心とした世代間を超えた交流の促進

## Ⅴ　人権教育の推進

・平成３０年度中津川市教育委員会「人権教育の方針と重点」を受け、子ども会活動や社会教育活動等における人権に関する学習や指導者研修の実施
・中津川市安全安心まちづくり推進市民会議いじめ対策部会や青少年健全育成市民会議等の関係団体・機関と連携した青少年のいじめ対策推進

## 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　中央　公民館

2　重点方針

1．「公民館友の会」を中心として利用者との協働による公民館の運営を目指す。
2．生きがいのある人生を送るため、生涯学び続けるための場・機会・情報を提供する。
3．まちづくり人づくりの拠点となるよう、地域の居場所としての機能を充実させる。
4．未来を切り拓く子どもたちの健全な成長を推進する。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 地域づくり学習 | “学び、活かす市民づくり”を実現するための学習機会を提供する。 | ・「熟年大学」「女性大学」で、日常生活の中にある課題について学ぶ。併せて受講生同士の交流で仲間づくりを図る。<br>・「乳幼児学級」で、幼い子どもを持つ母親同士の交流の場を作り、社会での孤立を防ぐ。母親としての視点で自らの学びを啓発する。<br>・「宿場の細道探訪」で、自分の住む地域を歩いて学び、郷土の歴史を学び郷土を大切にする心を育む。 | ・「熟年大学」「女性大学」「乳幼児学級」はアンケートを実施し、受講生が学びたいことを中心に実施する。 |
| | 健康づくり講座 | 生涯にわたって健康でいきいきと暮らしていける学習機会を提供する。 | ・「体を動かす」「食事に注意する」「認知症を予防する」など「8万人のヘルスアップ」の一端を担えるような講座を開く。 | ・現在、利用者は年配の女性が多いことから、男性や若い世代の利用者が増える講座を企画、実施する。 |
| | 文化・教養講座 | “いきいきとした人づくり”を実現するための学習機会を提供する。 | ・これまで継続してきた各種講座に加え、利用者にも参加していただいた「講座企画委員会」の企画による利用者が学びたい講座を開く。 | |
| | 青少年健全育成推進 | 次代を担う青少年が心豊かでたくましく自立するために、地域・学校・PTAと連携し活動する。 | ・夜間巡回補導活動の実施、また「地域のおじさんおばさん運動」を推進し子どもの安全を守る。<br>・各地域での子どもの活動を支援する。<br>・視聴覚クラブの協力により「夏休み地域映画会」を開催する。 | ・「地域のおじさんおばさん運動」の会員登録者数を増やす。<br>・大人だけが活動するのではなく、小中学生が参加できる事業を行う。 |
| 文化 | 中央公民館まつり | 1年間の学習成果発表の場、また、利用団体間の交流の場として開催する。 | ・利用者団体「中央公民館友の会」を中心とする実行委員会により運営を行う。<br>・展示、ステージ、囲碁、バザー、ガレージセールなど多彩な部門それぞれが、日ごろの成果や活動内容を発表する。 | ・平成30年度は第39回となる。「友の会」と協働で行っていて、利用者の発表の場としても大切な柱となる事業である。 |
| スポーツ | 学校施設開放受付 | 社会体育の振興を図るため学校施設を借りて開放する窓口となる。 | ・中津地区内5校との連絡を密にし、学校行事に支障のないよう利用者へ貸し出しをする。<br>・第二中学校、南小学校、西小学校の各施設の鍵貸し出し業務を行う。 | ・中津地区5校を受付しているが、使用頻度はほぼ飽和状態であり、新規利用者の活用が課題である。 |
| 運営 | 利用者との協働 | 開かれた公民館となるよう利用者と協働で運営を考える。 | ・中央公民館を学びの場としているすべての団体を対象とした「運営委員会化」を推進する。<br>・利用者懇談会を開催する。<br>・公民館講座等の企画委員会を作り、利用者の声を直接運営に活かす。 | ・「友の会」の会員は、中央公民館を利用して定期的に学習を行っている　社会教育関係団体（講座・サークル等）及びその会員で構成しているため、協働する大きな柱となる組織である。 |
| | 公民館活動のPR | 中央公民館がたくさんの方の“学びの場”であることをPRする。 | ・中央公民館を活動拠点にしているサークルを広く紹介し、活動の継続につなげる。<br>・「何かを始めたい」と思う方にたくさんの情報を素早く提供する。 | ・サークル活動の一環として、ロビーコンサートやロビーの小展示、六斎市への出演などサークルの出番を増やし、利用促進につなげる。<br>サークルPRの掲示板の活用、サークル募集、発表会のポスター掲示チラシの設置等活動PRの場をより多く提供する。 |

# 平成３０年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　苗木　公民館

2　重点方針

1．指定管理初年度にふさわしい運営・事業の展開（伝統を引き継ぎつつ、利用者主体の運営を目指し、改革する）
2．公民館の役割（出会い、学び、つなげる）を発揮し、地域づくり活動を支援
3．公民館から遠方の地域へ「出かける公民館講座」事業を実施

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 教室・講座の開講 | 地域住民の学習要求に応える。<br>仲間づくりへと発展させる。（サークル化） | 地域の絆づくり講座（４講座）、健康づくり講座（４講座）、文化・教養講座（２講座）を開講。受講生の主体性を重視した運営を行う。 | |
| | 乳幼児学級ぴっころの開催 | 子育ての孤立化を防ぎ、仲間と子育ての楽しさを体験、学習 | 未就園児親子を対象に、地域の子育て世帯に呼びかけ、健康・安全・手遊びなどをテーマに学習・活動を行う。 | |
| | 出かける公民館講座の開講 | 公民館から遠方の地域の方へ学習機会を提供する。 | 上地・上並松など各区で、主に健康づくり等をテーマに学習する。 | 【新規事業】 |
| | 青少年健全育成活動 | 青少年の健全な育成を目的に、地域の大人の青少年理解を深め、地域活動へと促す。 | 青少年健全育成推進市民会議苗木支部を中心に、地域の諸団体との連携を進め、補導、見守り活動等を行う。 | |
| | 交流スペース活用 | 区民の読書推進および交流、諸活動の場として開放 | 図書館との連携により、区民が気軽に図書に触れる機会をつくるとともに、ほっとしょくらぶを中心に活動の発表の場、学びの場として活用する。 | |
| 文　化 | 第３回苗木文化交流まつり | 地域の文化・芸能活動の発表の場として開催 | H３１年２月２３、２４日に作品展示、ステージ発表、出店のバザー等で公民館使活動、地域活動の発表と交流の機会として開催する。 | まち協教育・文化部会が主となり実行委員会を組織 |
| | 夏休み甲冑教室・秋の武者行列の開催 | 子ども達に苗木城跡を理解してもらう機会として開催 | 8/19（日）子ども甲冑作り教室を開催<br>事前に指導者の実習を行い、当日子どもたちへ指導<br>10/20（土）の苗木城まつりに武者行列で参加 | 史料館友の会、青少年苗木支部、公民館三者の合同事業として実施<br>【新規事業】 |
| スポーツ | 苗木体育協会活動の支援 | 地域住民の一人ースポーツ活動を推進するための各種大会を実施 | ６月　ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、７月　バレーボール大会、８月　野球大会、１０月　軽スポーツ講習会、１１月　健康マラソン大会、１月　親子スケート体験等を実施 | |
| | 学校施設開放事業 | 学校施設の開放を行い、地域スポーツ活動を支援 | 苗木小学校・苗木中学校の体育館、グランドを開放し、クラブ活動、区民のスポーツ活動の推進を図る。 | |
| 運　営 | 公民館運営委員会の開催 | 地域住民の声を運営・事業に生かすための審議を行う | 地域、公民館利用者等の代表者で構成<br>事業や運営に対しての意見交換等を行う | |
| | 利用者懇談会の開催 | 利用者等と職員の意見交流を行い、運営・事業に生かしていく | 利用者の声を聞く機会と同時に、公民館の思いなども説明し、今後の運営・事業を充実させていく機会として開催する | 【新規事業】 |
| | 「交流センターだより」の発行 | まち協・公民館の情報提供 | まち協・公民館の活動の情報提供 | 【新規事業】 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　坂本　公民館

2　重点方針　**「さかもと」キャッチフレーズ！！**

**「さ」＝さわやかな笑顔で、「か」＝かろやかに動き、「も」＝モット一さかもとを良くしようと、「と」＝とりくみます！！**

1.公民館活動は、地域に住む人々と密接につながる重要な学習の場であり、地域の特性を生かした活動を重視し、その活動がいっそう充実するための連携や必要に応じた援助を行う。
2.青少年健全育成坂本支部と見守り隊などの子どもに関わる団体の連携を図り、青少年の健全育成支援と安心安全な環境づくりの推進に努める。
3.生涯スポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図るとともに坂本体育協会等関係団体との連携を強化し、地域住民の健康・体力づくりを推進する。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 公民館講座の開設 | ・健康講座で心身ともにスッキリ！<br>・文化・教養講座で技術を磨く！<br>・仲間を増やし長生きのヒントとなる！ | ・健康講座8教室、文化講座4教室、和と絆講座4教室<br>・目玉は「こども歌舞伎講座」の開設<br>・ | ・地域での「和」と「絆」を高める |
| | 青少年健全育成 | ・心豊かでたくましく自立する<br>・地域で心を育む活動を目指す<br>・青少年の素直な心で成長させる | ・会員55名と予算670，000円で青少年活動に取り組む<br>・子ども会への助成夏休期間の夜間パトロール実施<br>・夏冬休み期間の地域子供会への助成 | ・地域の親子行事に助成 |
| | 図書の充実 | ・移動図書館として活用と充実を図りたい。 | ・H29年度　貸出冊数589冊　利用者数179名<br>・H28年度　貸出冊数406冊　利用者数140名<br>・H27年度　貸出冊数272冊　利用者数89名 | **コーナーに四季のイベントを飾る！！** |
| 文化 | 第43回公民館まつり | ・公民館講座・サークル生の学習意欲の向上を図る。<br>・発表を通して家族や仲間の絆を深め、地域の向上を図る。 | ・サークル・講座の利用者が実施主体となり企画立案する。<br>・ステージ発表　1日のみ開催　　17団体<br>・展示発表会　　3日間開催　　13団体 | ・「飛翔の里」合唱部を招き、まつりに参加していただいてます。 |
| スポーツ | ・第47回区民運動会<br>・各種スポーツ大会<br>・種スポーツ教室 | ・区民の健康、体力づくりへの関心を深め、地域住民相互の交流と親睦を図る。 | ・坂本体育協会が中心となり各地域から選出された体育委員86名の協力を得て、全区民で各スポーツ大会を開催<br>・メインは10月開催の区民運動会<br>・中学校生徒のボランティアあり | 体育協会が中心となって自主的に企画・運営が出来るように連携を図る。 |
| 運営 | 公民館利用者懇談会 | ・公民館の管理運営に対して充実を図る。 | ・公民館を利用団体の課題を解決するため、利用者の意見を聞き、運営、支援をしていくことで、活動の活性化を図り地域づくりに活かして行く。 | |
| サプライズ | 教育サロン | ・人生の学ぶ楽しさを身に着けよう。 | ・サロン形式の気軽な雰囲気の中で、毎回テーマを決め定期的に開催。 | 社会教育委員さんと実施する。 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　落合　公民館

2　重点方針

1.地域の人々の交流拠点として幅広い年代に学習の機会と居場所を提供するとともに、地域の各団体と連携して地域力を高めるための支援をしていく。
2.家庭教育及び青少年健全育成の充実のために、学校、家庭、地域と協働し子どもたちが安心して心豊に育つ環境づくりを推進する。
3.地域の歴史文化への理解を深める機会を積極的に提供するとともに、伝統芸能の復興を支援することにより地域の絆が強くなるような環境づくりに努める。
4.生涯スポーツ・レクリエーションの振興を図り、健康で心豊かな人づくり、地域づくりをするため、スポーツ関係団体などとの連携を一層強化する。
5.まちづくり推進協議会が策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」の実現を目指す。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 公民館講座 | 地域のみなさんの自主的に学ぶ意識を高揚させるとともに，仲間づくりなどによる潤いのある生活と健康の増進，感性の醸成を図ることを目的に開催。 | 年間を通し各種教室・講座（5～10回中心）を開講<br>・教室…女性大学、歴史教室、子ども（親子）教室等<br>・講座…従来の文化スポーツ講座に地域性を組入れる<br>（健康体操、ヨガ、太極拳、小物陶芸） | 自主的な講座運営を目指し、自主サークルへ移行できるように支援する。 |
| | キッズクラブ（乳幼児学級） | 乳幼児を子育て中の親さんを対象に、仲間づくり・子育て・遊びなど親子で学ぶ居場所づくりを場所とする。<br>少子化社会の中で地域で子育てを支援する環境づくりを創出する。 | 0～3歳児と親を対象に、季節の行事や遊びと学び（親子の関係・あいさつ・行動・躾など）を組み合わせ、毎月1回1年間を通して自主的な活動運営を高める。 | 老人クラブとの連携を密にして三世代交流づくりを深める。 |
| | 自主活動サークル支援 | 公民館を利用し地域づくり活動に積極的に活動しているサークルを情報提供や、事例紹介、広報活動などで支援し地域の活性化につなげる。 | 市民協働課で実施している「がんばる地域サポート事業」の採択団体を中心に協働のまちづくりの観点から各種アドバイスを行う。 | 成果物ができることによる会員の自信、次へのステップにつながる。 |
| | 元気キッズ事業<br>【青少年健全育成】 | 異年齢集団による体験活動により、地域の人との交流を深めるようにする。特に、小学校高学年・中学生の参加促進を促す | 各号区単位の地域子ども会の活動を通して異年齢交流や地区行事に積極的に参加を促すことで子どもの出番と居場所づくりを支援する。<br>・どんど焼き、夏休み合宿、三世代ｳｫｰｷﾝｸﾞ等 | 保育園、小学校、中学校と連携を強化する。<br>園長・校長・館長の四長会議の開催。 |
| | 図書展示ルーム | 誰もが気軽に集える場所とする。 | 図書館と連携しながら利用者の学習ニーズに応える。 | 多目的会議室としても利用する。 |
| 文　化 | 落合公民館まつり<br>・ステージ発表会<br>・作品展示会 | 子どもから大人まで文化・芸術に親しむ場と日頃の成果を披露する機会を提供するとともに、皆の交流の場とする。<br>地域の伝統文化の継承、個々の文化活動を高めるとともに、活動を通して地域づくり活動に結びつける。 | サークルや講座の利用者が主体となり、企画してステージ発表、作品展示で成果発表する。<br>併せて、個人、保・小・中の子どもたちの1年間の活動（学習）成果発表をする。 | 「楽しくなければ公民館じゃない！」をメインテーマに開催。<br>落合宿本陣の公開管理業務を地域活性化に繋げるように支援する。 |
| | 史跡等総合活用整備事業<br>・落合宿本陣修復工事<br>・落合宿本陣公開事業 | | | |
| スポーツ | 体育協会落合支部事業 | 地域のみなさんの健康の維持・増進と仲間作りを目的とする。 | 体協落合支部行事の支援。<br>まち協の福祉文化教育部会とも協力して取り組む。 | 健康ウォーキング大会の企画立案<br>新春マラソン大会の開催<br>落合石畳マレットゴルフ場を拠点に生涯スポーツであるマレットゴルフ愛好者の増加を目指す。 |
| | 落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョンの実現 | コミュニティスポーツ（ウォーキング、マレットゴルフなど）を気軽にできる環境を創出する。 | まちづくり推進協議会で策定した「落合地域コミュニティスポーツ推進ビジョン」具現化を推進する。基本理念は「あなたらしく　わたしらしく　生涯スポーツを！」。 | |
| 運　営 | 公民館運営委員会 | 公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。地域住民のニーズを把握する。 | 日頃の公民館利用者の声を受けとめ、公民館の管理・運営に活かす。 | 公民館の指定管理者制度の研究をテーマの一つとする。 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　阿木　公民館

2　重点方針

1. 地域住民の日常的な学習活動の拠点として、学習を重ねることを重視し、暮らしにかかわるさまざまな課題や希望を支える拠点を目指します。
2. 地域の人々のふれあいの拠点として、人々が住み慣れた地域で快適で安全に集うことができる場を確保し、公民館の行う事業や公民館を利用して行われる活動をとおして、地域づくり・まちおこし・健康づくり・地域ボランティアへの発展を目指します。
3. 地域ぐるみの青少年の健全な育成として、家庭・地域・学校が一体となり、地域の特色や人材を充分に活かして、地域の子どもの育ちを支えます。
4. 家庭教育の支援として、子育てサークルの自主的な活動を尊重しつつ、子育て学習への取り組みの支援を行います。
5. 新しい公民館へのスムーズに移行を行えるよう協議を行います。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 公民館講座・学習教室 | 趣味の講座や学習教室をとおして、誰もが安心で暮らしやすい地域の創造に向け、人と人とのつながりやふれあいを育て、地域づくり・地域おこし・健康増進・地域ボランティア活動へのきっかけの場を作っていく。 | 公民館講座<br>　地域の歴史を学ぶ教室、高齢者の健康体操や若い人世代を取り込むため、フラダンス教室など行い福祉・健康関連等を取り入れていく。 | 地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。 |
| | 乳幼児学級<br>【未就園児と保護者】 | 0～3歳児を持つ親の交流をとおして、親子間のコミュニケーションを深めることや、子育てに関する学習や悩みの解決、保護者交流をねらいとする。 | 乳幼児学級の対象である未就園児の親子の7割が子育てサークル「わくわく広場」に加入しており、週2回（火・木）阿木地域振興センターで活動をしている。リーダーを中心として自主的な運営がされているが、昨今「わくわく広場」に加入しない親子が増えており、乳幼児学級では、全ての対象者が家庭教育の場に集い、交流できるよう取り組む。 | 会員同士の交流を深め、互いに子育てを助け合う体制作りを支援する。<br>乳幼児学級を年数回行い、会員以外の親子にも交流と学習の場を提供する。 |
| | みちくさ教室<br>(阿木子ども公民館) | 子どもたちの様々な体験、学習、交流をとおして健全な育ちを支えると共に、子どもと公民館との関わりを深める。 | ものづくり、体験教室、防災教室、体験をとおして作法を身に着けたり、地域の大人との三世代交流などを行う。<br>放課後居場所作りでみちくさフェスタ等を開催するほか地域事情に合わせた支援をしていく。 | 青少年阿木支部、阿木地区社協、ふるさと福祉村の児童サロンとも連携して実施する。 |
| | いきいきねっと事業 | 地域の若者からお年寄りの「英知と力」を結集して、住みよくて、温かみある里づくりを推進する。 | 地域の安全安心を守りながら、子育て支援に力を注ぐとともに少子化問題に取り組む。 | 阿木区長会と共に地域課題や地域イベント等をバックアップしていく。 |
| 文　　化 | 阿木文化祭（展示・ステージ発表会） | 阿木文化連盟に所属する団体のほか、阿木公民館を活動の拠点とする各種文化関係団体の一年間の活動成果を発表する場とする。 | 日頃の活動を発表する場として、12月に、書道、俳句、華道などのほか保育園、小・中学校の児童・生徒の作品を展示する。また、同時に民踊や詩吟、カラオケなどのステージ発表を行う。 | 阿木文化連盟や公民館を活動拠点とする団体と連携・協力して事業を推進する。 |
| スポーツ | 阿木体育協会との連携・協力 | 阿木地域の住民（子どもからお年寄りまで）の健康増進、体力向上、親睦を図るため各種の事業を連携して開催する。 | 阿木体育協会の行事の支援、協力する | カヌー教室　・　阿木区民運動会<br>ノルディックウォーキング<br>スケート教室　・　新春マラソン<br>その他各種スポーツ大会および教室、講演会を開催する。 |
| 運　　営 | 利用者の声の反映 | 公民館の管理や運営に利用者の声を活かす。 | 日頃の公民館使用や会議の場などから利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。 | |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　神坂　公民館

2　重点方針

1、生涯学習の推進・・・地域住民に学習機会の提供や交流の場として、各種講座を開講する。
2、青少年健全育成の推進・・家庭・地域・学校が連携し,子ども達が安全で安心して育つことができる地域づくりを支援する。
3、馬籠地域との連携・・様々な機会を通じて神坂・馬籠地域住民の交流を支援する。
4、地域づくりの推進・・東山道もみじまつり等を通じて地域づくりに向けた住民の交流を支援する。
5、公民館活動の充実・・地域住民の学ぶ場として、場所や情報など必要に応じた援助を行う。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 高齢者大学「湯舟沢大学」女性学級 | 学習の機会を提供するとともに、交流と生きがいづくりを支援する。 | 年8回　女性学級と合同開催 | |
| | 公民館講座 | 仲間づくりや健康づくり、学習の場をとおして、豊かな生き方に結び付ける | 多くの地域住民が気軽に参加できる、学習機会と仲間づくりの場を提供する。 | |
| | 乳幼児学級「わんぱくらぶ」 | 子育ての仲間づくりと親子の学び場づくりを支援する。 | 読み聞かせ・リトミック・遠足等　年11回開催 | 山口の乳幼児学級と年2回合同開催あり |
| | 青少年健全育成推進 | 神坂・馬籠が連携し、体験活動等をとおして、青少年健全育成の強化を図る。 | 親子クリーンキャンペーン（環境美化空き缶拾い）＆マスつかみ、かるたとり大会等 | |
| 文化 | ふるさと神坂総合文化祭 | 学校・地域住民の日頃の成果の発表や、地域住民の交流を図る。 | 幼・小・中学校と神坂・馬籠地域住民の参加による作品展示とステージ発表。 | |
| | 東山道もみじまつり | 子どもからお年寄りまでが参加できるイベント。地域の観光PRと地元特産品の即売、学校も参加し住民の交流の場として活性化を図る。 | もみじ狩りとウォーキング・マスつかみ、神坂の歴史講話・特産品の即売・無料豚汁サービス等　各イベント | 小雨決行 |
| スポーツ | 湯舟沢リバーサイドマラソ | 健康と体力づくりの関心を深め神坂・馬籠地域住民の交流の場を支援する。 | 小学校低学年・高学年・中学女子・男子・一般・親子でマラソンを実施し、その後ウォーキング教室を開催。 | |
| | 神坂学校・地域親善大運動会 | 学校と神坂・馬籠の地域住民と地域団体が一体となりスポーツで親睦を深める支援をする。 | 幼・小・中学校と地域（神坂・馬籠）・消防団・老人クラブ等が参加し、地域全体として運動会を開催。 | |
| 運営 | 調整会議 | 学校・地域（神坂・馬籠）・各団体の行事が重複しないようにする。 | 幼・小・中学校・地域（神坂・馬籠）・各種団体代表によるスケジュール調整 | |
| | 広報みさか発行 | 地域内の情報提供と、公民館活動の理解を深める。 | 毎月1回 地域情報提供　全戸配布 | |
| | 乳幼児図書コーナー | 読み聞かせを通じて親子のふれあいを深める。 | 事務所の一室を図書コーナーとし、乳幼児の絵本・紙芝居等を設置。貸出等にも対応。 | |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　山口　公民館

2　重点方針

1. 地域の住民が気軽に集うことのできる公民館、地域づくり・人づくり・生涯学習の拠点となる公民館を目指します。
2. 地域の子供は地域で守り育てる、青少年が健やかに育ち自律できる社会環境づくりのい努めます。
3. 地域における活動や人材を結びつける活動を通し、活気のある楽しい町づくりに取り組みます。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 地域づくり学習 | 子どもからお年寄りまでの居場所づくり。より質の高い幅広い学習機会を提供する。 | 「生きがい大学」にて熟年者の居場所づくりと講座を通し交流を深めながら生きがいを見つける。<br>「乳幼児学級」にて親子のふれあいとママ友の輪を広げながら子育てを面白く学習する。 身近な地域における課題解決に向けた講座の開設。 | 「体験クラブ」「文化歴史散歩」<br>「茶道教室」は、やさか（山口、坂下、川上）の合同講座として実施している。 |
| | 健康づくり講座 | 自身が健康であれば何でもできる生涯健康でイキイキとした生活をしていくための学習。 | 「ウォーキング」「体操」「ヨガ」「脳トレ」など自分に向いた選べる健康講座を多種開設する。 | 8万人ヘルスアップに繋ぐべく参加者を募る。 |
| | 文化・教養講座 | 個人の知識・技術・経験を広く高くすることで自身の充実した生活に繋げる。 | 音楽、技術、教養講座を開設、趣味と娯楽とを同調させた楽しい環境を提供する。 | 楽しく学べることを重視する。 |
| | 青少年健全育成推進 | 山口地域の独自性を意識し、地域の団体と連携しながら地域ぐるみで子供たちの育成を推進する。 | まち協、社協、学校、PTAなど地域に貢献する殆どの団体と連携しながら子供たちを守り育てる事業を展開する。<br>「危険場所調査」街頭啓発」「教育の集い」などの活動を支援する。<br>子ども達の夏休みには世代間交流事業を開催する。 | 「地域のおじさんおばさん運動」を推進する。 |
| | 図書の充実 | 児童図書を充実させ、教養と人づくりに繋げる活動を推進する。 | 「図書まつり」を開催する。<br>幼稚園、小学校への出前図書を継続実施する、季節・トレンド・年代別などのニーズに沿った配本を定期的に実施する。 | アンケートを実施しながら子どもたち、先生、PTA、一般のニーズを調査し反映させる。 |
| 文　　化 | 地域文化の振興 | 地域の文化芸能活動を支援することにより住民の文化伝統の意識を向上させる。 | 文化協会主催のやさか芸能祭を支援していく。<br>子ども達の作品を展示公開する、地域の団体・サークルの発表の場を提供する。 | 山口の数少ない文化伝統を守り継承していく。 |
| スポーツ | 地域住民のスポーツ活動 | スポーツにふれる機会を提供することで地域住民の交流と体力の増進を図る。 | 体育協会と連携しウォーキング、スキー・スノボー教室、マレットゴルフ大会など子供から大人まで気軽に参加できる活動を展開する。 | 地元住民がより多く参加できる事業を、まち協、体協、健全育成と協議しながら具現化。 |
| 運　　営 | 公民館運営委員会 | 公民館の管理、運営を円滑にする。<br>公民館活動の活性化を図る。 | 公民館の利用者を中心としたメンバーで、年2回の会議を実施する。<br>委員の声を聞きながら時勢・地域性を考慮しながら、新たな環境を創りだすこと。<br>地域の拠点となる公民館を目指す。 | 地域の住民と協働していくことが前提。 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　坂　　下　公民館

2　重点方針

Community Learning Center of the people , by the people , for the people .
1. 人づくり・・・地域の人材を発掘・活用しながら楽しくておもしろい公民館講座等を開催し、次代を担う地域リーダーの育成を図る。
2. 絆づくり・・・親子の仲間づくりに重点を置いた乳幼児学級・子育て学習等を推進し、地域の教育力の向上と人々の絆の強化を図る。
3. 地域づくり・・・やさか地区関係諸団体との連携による青少年健全育成の推進を図る。地域連携強化による公民館活動、スポーツ事業を推進する。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 留意点 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 乳幼児学級（ほほえみ教室） | 就学前の親子を対象に、子育てを通した仲間づくりと学習・情報の交換を行い、家庭の教育力を高める。 | 月一回の定例学級と班活動により、乳幼児期からの家庭教育の支援と学習の場、仲間づくりの場の提供を行う。<br>やさか地区合同の乳幼児学級も二回程度設定する。 | 保護者の独創的な発想を大切にすると同時に、地域の人材を積極的に活用し世代間交流を図る。また、地域間の交流も図る。 |
| | 青少年健全育成活動 | 啓発と実践活動を通して、地域ぐるみで子どもを育てる意識を高める。 | 危険個所の点検・街頭啓発活動、登下校の安全確保などの活動を実施して、子どもたちを地域で守る意識を高めて行く。<br>子どもたち自身の企画・運営を大切にした楽しい活動を追求する。読書活動の推進を図る。 | 地区（10）ごとに委員選出、やさか地区合同での啓発活動を実施。<br>「地域のおじさん・おばさん運動」の推進を図る。 |
| | わくわく体験くらぶ | やさか地域の小学生と保護者で体験活動と交流を行う。 | 地域の自然に触れたり、創作活動、科学実験等の各種体験に親子で挑戦する。 | 楽しくておもしろい多様な体験活動を設定する。やさか各地区の独創性を生かすようにする。 |
| | 公民館講座の開催 | 若年層から高齢者まで学習機会と仲間作りの場を提供し、地域づくり・ボランティア活動へのきっかけを作っていく。 | 楽しくておもしろい講座での学習や体験を通して個々の能力の向上と活用を図り、世帯間交流を深める。講座受講者が新たな指導者となって活躍できる動機づけにする。 | 平成29年度並みの講座数を予定、地域人材の発掘とそれを活用した独創的な講座の設定に努める。 |
| | 教育のつどい・青少年健全育成推進大会 | 「やさかの子は、やさかで守り育てる」を合い言葉に、青少年の健全育成をめざして地域の諸団体の連携の場とする。 | 園・学校・家庭・地域社会が情報を共有・発信しあい、青少年に関わる一貫した取り組みを行う。様々な活動を通して意思統一を図る。 | 10月20日予定、やさか地区小中学校授業参観、実践発表または講演会などの予定。 |
| | 図書室まつりの開催 | 子ども達の読書への興味と関心を高め、豊かな心を育む。 | 公民館図書室を知ってもらうきっかけづくりにしたり、本の楽しさ広げる企画を行う。 | 小中学校夏休み期間中を予定。ボランティアによる活動なども重視する。 |
| 文化 | 「花馬まつり」（坂下）の保伝承 | 無形民俗文化財の保存と継承に努め、郷土愛護思想の高揚を図る。 | 「花馬まつり」の保存と継承に地域を挙げて取り組み、連帯意識の高揚を図る。。毎年10月の第二日曜日に行われる。 | 囃子方、子ども手踊り等の練習場所の確保に留意する。 |
| | 歴史・民俗資料の保存・伝承 | 地域に伝わる文化遺産の保存と継承を図る。 | 文化財保護団体と連携し、既存資料の記録・整理・保存に努め資料館を積極的に活用する。広報・宣伝活動を通して史料館来館者の増加を図る。 | 坂下民俗資料保存会と連携し、歴史民俗資料室の整理、展示、維持、運営方法を考究する。 |
| | 文化事業 | 文化祭・芸能祭・地歌舞伎の公演などを支援し、その継承と保存に努める。また、後継者の育成にも力を入れる。 | 年一回、文化祭・芸能祭を開催。歌舞伎公演会には、子ども歌舞伎の公演なども行い、後継者の育成を試みる。 | 10月に芸能祭、11月に文化祭・歌舞伎公演を予定。それぞれの団体が開催する活動をサポートする。 |
| スポーツ | 各種スポーツ大会の開催 | スポーツを通して子どもから大人までのふれあいの場と健康づくりの場を提供し、スポーツ機会の充実を図る。 | 元旦走り初め大会・椛の湖ジョギングお楽しみ会、各種駅伝大会・卓球・ソフトバレーボール・ビーチボール大会などの開催 | 坂下総合体育館、やさかイキイキ倶楽部との連携強化を図る。 |
| 運営 | 公民館運営委員会 | 公民館等の管理や運営に利用者の声を活かす。 | 委員会・日ごろの公民館等利用者・会議の機会などから、利用者の声を受け止め、公民館の管理や運営に活かす。 | 総合事務所との連携の強化を図る。 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　川　上　公民館

2　重点方針

1　巾幅広い分野の学習を展開し教養を高める。
2　公民館を多くの住民が利用するように、要求に見合った活動を展開していく。
3　年齢を問わず参加できる体験活動を通じて青少年健全育成活動を充実する。
4　体育協会やまちづくり推進協議会と連携・協働し、文化スポーツ活動と地域づくり活動を推進する。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 乳幼児家庭教育学級 | 就園前の乳幼児を持つ親たちの自主学習、講座、情報交換を通じた仲間づくりを進める。 | ・月１回開催（やさか地区合同学級年2回含む）<br>・企画、進行等学級生が主体となって活動を行う | 卒級生、老人クラブなどの託児サポート |
| | 公民館講座の開設 | 学習を通して個々の能力の活用や世代間交流を図るとともにサークル化を目指す。 | ・若年層から高齢者までの学習機会と仲間作りの場を提供する | もみじの里楽校・手機織り・水中運動・星空観察・歴史教室 |
| | 青少年健全育成事業（川上） | 関係団体や地域との連携を密にし、青少年の健全育成を推進する。 | ・支部連絡会を開き、小中学校、警察、子ども会等諸団体からの現状報告を聞いて対策を考える。 | ふれあい登山、木工教室、かるた大会 |
| | 青少年健全育成事業（やさか） | やさか地域が連携し、地域全体での青少年活動への意識向上を図る。 | ・やさかの公民館が連携を取り合って、情報収集、会議運営、諸行事の支援などを行う。 | やさか教育のつどい・わくわく体験くらぶ・夏休み子ども祭・文化歴史散歩・茶道教室（坂下高校） |
| | 青少年ボランティア参加促進事業 | 地域の一員として活躍できる場を提供し、ボランティア活動の成就感体験を図る。 | ・公民館がつなぎ役となり、まち協、体協、文化協会、区長会等の事業に、参加を求め、地域の大人と一緒に活動する。 | 区民運動会、文化祭芸能発表会、夕森もみじまつり、防災訓練 |
| | 公民館図書室活動 | 住民に学びの場を提供し、図書室の利用拡大をさらに進める。 | ・読み聞かせサークル「しゃぼん玉」の読み聞かせ、・図書室まつりの実施、・保育園、小学校、診療所との連携を強化する。 | 図書室まつりは年2回実施。手づくり教室などを入れる。 |
| 文化 | 文化活動の支援 | 地域の文化芸能活動の活性化を図る。 | ・発表の機会を増やし、意欲を持たせる。 | 文化協会の自立・文化祭 |
| | 文化財の発掘 | 家庭や地域に眠る文化財の発掘・保護に努める。 | ・文化財を持ち寄って参加者で交流しその価値を再認識する。 | アナログレコード観賞・史料収集 |
| スポーツ | 区民運動会 | スポーツを通じ、老若男女が一堂に会し交流を深める。 | ・体協が主導し、まち協を中心に区長会、地区体育推進員、等諸団体が協力して盛り上げる一大イベント。 | 住民の半数以上が参加する |
| | 軽スポーツ大会 | 軽スポーツを通じ、地域間・世代間交流の促進を図る。 | ・ビーチボール大会<br>・グランドゴルフ大会（春季、秋季） | 主催は体育協会、青少年健全育成市民会議川上支部協力 |
| 運営 | 公民館運営委員会の開催 | 地域の特色を活かした活動の活性化と地域住民の意見を大切にした運営を進める。 | ・公民館運営委員会委員を単に充て職で構成するのでなく利用者の声を拾う工夫をする。 | 指定管理制度の研修 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　加子母　公民館

2　重点方針

1.家庭教育力及び地域教育力を高めるために、関連する各組織がお互いに連携できる機会を提供する（家庭教育）
2.青少年育成区民会議活動を充実し、子ども達を核とした地域づくりを促進するための情報や機会を提供する。（青少年健全育成）
3.生涯学習活動を支援し、街づくりに参画する市民活動の原点を養う。
4.健康を基礎とした人づくりをめざし、スポーツ・レクリエーションを推進する。
5.伝統文化の継承を支援する。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 家庭教育推進（家庭教育） | 幼児期の子どもを持つ親を中心に家庭教育に対する正しい知識を身につける。 | 乳幼児学級は学びの場を中心に展開し親育ちの支援を行う。また、自主運営を行っている子育てサークルの相談や指導を行い円滑な運営ができるようにする。 | 付知・東白川・白川地区との地域間交流を行う。 |
| | 加子母教育の日（家庭教育） | 地域の教育力を高め、地域で子育て、地域教育をみんなで考える。 | 教育について地域住民を中心に考え語り合う機会を提供する。 | 通常11月最終日曜日 |
| | 青少年健全育成事業 | 地域の中で小集会活動を充実し、地域全体で青少年健全育成を実践していく。 | 挨拶推進・安全安心・花づくり事業・各組織連携の合同会議を開催し、実践してく。 | 10地区に青少年健全育成区民会議を区長中心に設置している。 |
| | 風起こし事業 | 明治座を核とした文化による地域づくりのため、地域の芸術文化向上、コミュニティー醸成、交流促進、全国への情報発信を図る。 | 明治座の通年開館を行うことにより、文化財の保護と、地場産業や観光事業を振興し地域の活性化を図るためのイベント等を創出する。 | 明治座クラシックコンサート、明治座アートトリエンナーレ等 |
| | 公民館講座 | 年齢層に応じた学習内容、仲間づくりを目的に実施していく。 | 地域から要望の多い文化スポーツ講座、地域づくり講座を実施する。今年は「加子母る講座」として、地元学講座を開催する。 | |
| | 図書室の利用向上 | 総合事務所内に併設した図書室として、幅広い年齢層の利用を促すことにより読書活動を推進につなげる。 | 利用者にとって読みやすい場所及び充実した図書を提供することにより、利用者の増加を図る。また、定期的に図書室まつり等のイベントを実施する。 | 図書選書及び返却管理などは図書ボランティア「ひなたぽっこ」と共同で行っている。 |
| 文化 | 伝統芸能保存活動 | 地域の伝統芸能の保存と、次世代へ継承を行う。 | 歌舞伎・木遣り・獅子舞・さいとり刺し・獅子芝居等の伝統芸能の保存伝承を行う。子どもたちの参加を促し、後継者の育成を進める。 | 9月に明治座で歌舞伎公演、各区の神社祭典で獅子舞奉納等を行う。 |
| | 文化協会事業 | 地域住民の文化芸術思想の高揚と会員相互の研修と親睦を図る。 | 14の文化団体で構成し、成果の発表と各団体の交流を図るために文化祭を開催する。 | 10月に文化祭を開催予定。 |
| | 「史・民俗資料」の保存・伝承 | 地域ボランティアの力を借りて、地域史・民俗資料の保存・伝承を図る。 | 「郷土館」を中心に加子母地域の古文書資料の整理、民俗資料の整理や展示を行い、保存及び伝承をする。尾張藩山守内木家の古文書に解読を進める。 | 「郷土館」は、地域ボランティアの協力により随時開館中。山守内木家の古文書の解読は、国文学研究所の協力により実施中。 |
| スポーツ | スポーツ少年団活動 | スポーツを通じて、子どもの健全育成を図る | 4種目のスポーツ少年団を指導員と保護者で構成する育成会との連携を深め、子どもたちの健全育成を図る。 | 野球・剣道・弓道・スキーの4種目で小学1年～中学生を対象に団員募集し活動する。 |
| | 加子母体育協会事業 | 一般スポーツを普及し体力増進と健康増進を図る。体育協会が中心となり地区体育祭を開催し住民の親睦と健康増進を図る。 | 青少年に対し、スポ少と連携して強化を図るとともに、一般競技者の技術向上を図る。また、軽スポーツ等の普及に努め体力づくりの機会を増進する。地区体育祭は10地区対抗で開催し、スポーツを通じたコミュニティづくりを行う。 | 体育推進委員が活躍して普及している。また、体育祭は開催時約1000人集まる加子母で最大の行事である。 |
| 運営 | 公民館・図書室の運営 | 公民館・図書室の管理や運営に利用者の声を活かす。 | 公民館や図書室の利用者の意見を反映し、管理や運営に活かす。 | |

# 平成３０年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　付知　公民館

2　重点方針

１．地域の人々の交流拠点として幅広い年代層に学習の機会と場所を提供するとともに、地域づくり・人づくりの拠点として親しまれる施設の運営を目指す。
２．家庭教育の充実のために地域の子育て支援団体と連携・協働し、子育て支援活動に取り組む。
３．青少年の健全育成を推進するために、青少年健全育成付知支部の活動を強化するとともに、地域全体で子供を育てる事業を実施する。
４．地域伝統芸能継承団体及び文化団体の活動支援を行うとともに、地域の文化財を後世に継承していくための文化財保護活動の支援に取り組む。
５．総合型スポーツクラブとの協働により生涯スポーツ活動を推進し、健康で豊かな人づくりを目指す。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概　要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 公民館講座 | 地域住民の学習や交流の場として生きがいづくりを支援し、地域づくり・人づくりの推進を図る。 | 地域づくり講座、文化スポーツ講座、夏休み子ども講座等各種講座を実施する。夏休み子ども講座では、世代間交流や子どもの地域学習の場を提供する。 | 地域住民の意向を把握し、地域づくり・健康づくりとなる講座を開設する。 |
| | 青川フェニックス大学【高齢者大学】 | 高齢者の知識向上と生きがいづくりを目指し、仲間づくりと学習する機会を提供をする。 | 大学の講座開講は運営委員会における自主運営で行い、学生の生涯学習、健康の維持・増進等を図る講座を開設する。今年度で２１回目の開講となる。 | 平成２９年度・・・普通部7講座、専門部19講座受講者数延べ328人、うち卒業者数延べ232人、皆勤者数62名 |
| | 乳幼児学級 | 乳幼児とその親たちに家庭教育と情報交換の機会を提供し、子育てのノウハウやコミュニケーション能力の向上を支援する。 | 未就園児の親子を対象に毎月１回開催し、季節行事や交流・講話等を実施し、家庭教育の学習と情報交換の場を提供する。 | すくすくわくわくまあるいこころ、読み聞かせサークルおひさま、地域の託児ボランティアの協力を得て運営している。 |
| | 青少年健全育成事業 | 地域団体と連携して青少年の健全育成と安全確保ができる活動の推進を図る。 | 夏休み夜間パトロール、危険箇所の点検、あいさつ運動、スポーツ少年団駅伝交流会、ハツラツウォーキング、付知町書き初め大会、児童版画コンクール、子ども会支援等の事業を実施する。 | 区長会、PTA、学校、保護司、民生児童委員、更生保護女性会、各区推進委員等が連携して活動している。 |
| | 図書室の利用促進 | 地域の方に親しまれ、便利で気軽に利用できる図書室を目指す。 | ①市民への情報提供：図書室だより、企画展示<br>②地域連携事業（学校・NPOとの協働事業）<br>③利用者へのフォロー：図書検索、予約など<br>④読み聞かせサークルの支援 | 学校、NPO、ボランティア団体との協働により、公民館図書の利用促進を図る。 |
| 文　　化 | 伝統芸能保存事業 | 地域の伝統芸能の普及と、次世代へ伝承できるよう支援する。 | 木曳音頭、翁舞、三輪神楽、おんぽい節などの伝統芸能を後世に正しく伝承するため、保存会と連携して活動、イベント等への出演の支援を行う。 | 後継者不足を解消するため学校との連携を進め、発表・交流の場を増やす。 |
| | 文化祭事業 | 文化芸能活動を支援し、地域の文化振興と住民の文化意識の向上を図る。 | 文化協会が主催で、市民の文化活動の発表の場として催しており、２８年度から、作品展示と芸能発表を一緒に二日間かけて開催している。 | 平成３０年度・・・文化協会34団体、協会員411人 |
| | 文化財保護事業 | 文化財を保存し後世へ継承していくとともに、普及・啓蒙活動を支援する。 | 文化財保存会を中心に、地域の文化財を保存・継承していくために、文化財の手入れや環境整備・見学会の実施を支援する。 | 付知町文化財保存会が地域の史跡顕彰看板を設置 |
| スポーツ | 生涯スポーツ推進事業 | スポーツを通して健康づくりと体力づくりへの関心を深め、子どもから高齢者までの健康増進と地域交流を図る。 | 総合型地域スポーツクラブとの協働により、各種スポーツ大会や教室等を開催するとともに、スポーツ少年団、体育協会のスポーツ活動を支援する。 | 平成２９年度実績・・・ｽﾎﾟﾚｸ祭7種目330名、スポ少駅伝交流会210名、ウォーキング大会55名等 |
| 運　　営 | 公民館運営委員会 | 地域の特色を活かした活動の活性化と、地域住民の意見を活かした運営を行う。 | 公民館運営委員会を開催し、その意見を公民館活動に反映させる。 | 公民館運営委員は町内の公民館を利用する各種団体から選出 |
| | 公民館の指定管理 | まちづくり団体が公民館と一体的に活動することで、住民の意向を的確に反映した公民館活動を行い、人づくり、地域づくりを通して地域の活性化へつなげる。 | 本年度から、付知町まちづくり協議会が付知公民館の指定管理を開始するにあたり、施設の設置目的、および管理運営方針をを充分に理解し、公民館活動の向上に努める。 | |

# 平成３０年度　公民館の重点方針・事業について

1 公民館名　福岡　公民館

2 重点方針

１．安全で安心して住むことのできる地域づくりに取組み支援します。
２．家庭、学校、地域、各種団体等と連携し「地域教育力」の向上に努めます。
３．各施設を市民の居場所づくり、出番づくり、仲間づくりに活用します。
４．伝統文化の継承と文化団体の育成を支援します。
５．指定管理施設（公民館、ふれあい文化センター、常盤座）の管理と、活用による地域づくりに貢献します。

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 各種講座の開催 | 学習の機会を提供するとともに、交流と生きがい作りを行う。 | 地域、健康づくり及び文化スポーツ学習講座を軸に多くの皆さんに参加していただける講座等を企画運営する。 | 講座終了後、参加者からアンケートを実施し、講座の充実を図っている。 |
| | 乳幼児学級<br>（母親サークル） | 子育てに関わる学習や遊びから親・子同士の交流を深め、仲間づくりや家庭教育の向上をはかる。 | 学びながら親子のふれあい、親同士のふれあいをテーマに季節の行事や食育、講演など、月１回様々の企画で開催する。 | 参加者の自主活動で行われ、リーダーを通して事前打ち合わせを行い、連携しながら運営している。 |
| | 青少年健全育成推進活動 | 家庭、学校、地域が連携し、青少年の健全育成に努める。<br>福子連の自立と育成及び地域子ども会の自主的活動を推進する。 | 社明運動やふるさと祭りを始め、各分会において健全活動、保護活動を実施する。<br>福子連（福岡子ども会連絡協議会）主催のふるさとの宝ものさがしの実施やニッ森ふれあいクラブ祭りへの協力を行う。 | 保護司、更生保護女性会、民生児童委員、PTA、学校、当該推進委員が連携して活動。<br>次世代の担う子供たちの育成を保護者の方たちと支援する。 |
| | 家庭教育学級 | 家庭教育力の向上のため、家庭、学校、地域が一丸となり子育てを推進する。 | 福岡中学校区の各学校と公民館が一帯となり、気軽に語り合う、学びあう、機会をつくる。 | 公民館を会場として、年間５回の講演会を開催し延べ２００人以上の参加者がある。 |
| | 熟年ふれあい学級 | 毎日をより豊かに過ごすことができるよう、仲間づくりと学習する機会をつくる。 | 楽しみながら月１回勉強会などを開催するとともに、見聞や知識を広める研修会を年２回開催し親睦交流を更に深める。 | 役員主導により月１回、楽しい学習活動を行っており、増加傾向にある。 |
| | 放課後子どもクラブ | 放課後のすべての子どもたちを守り、自主活動を支援します。 | 各施設を利用し、子どもたちに勉強やスポーツ、文化芸術活動、地域住民と交流機会の提供、健全な生活と就労と子育ての両立の支援を行う。 | 公民館が待機場所であり、月１回、５月から３月まで、１５時から１８時の時間帯で実施している。 |
| 文化 | 文化活動事業（文化展） | 地域の文化振興と住民の文化に対する意識の高揚と技術の向上を図る。 | ふくおか文化協会が主催し、住民の成果発表と作品展示、特別展などの場として、毎年１１月の第一土曜日と日曜日に文化展を開催する。 | 毎年２００名以上の方が出品され、２，５００名以上の来場者がある。 |
| | 芸能活動事業（芸能祭） | 地域における文化芸能を広く普及し、各団体間の交流と親睦を深める。 | ふくおか文化協会に加盟している団体等が日頃修練してきた成果発表（出番作り）の場として、毎年３月の第一日曜日に開催する。 | 協会団体や会員を募集するとともに、賛助会員を募り、文化協会を更に発展させる。 |
| | 伝統芸能保存事業<br>（常盤座歌舞伎保存会） | 地歌舞伎の保存伝承と後継者の育成を図る。 | 常盤座を訪れる方へ歴史的建造物と地歌舞伎のPRを行う。<br>常盤座歌舞伎保存会が毎年３月の最終日曜日に歌舞伎定期公演を開催する。 | 常盤座歌舞伎保存会、常盤座桟敷会（支援団体）、歌舞伎子ども教室が積極的に活動している。<br>観光バスの来客や問い合わせが急増している。 |
| | ニッ森ふれあいクラブ活動 | 地域住民が主体となって、企画運営しているニッ森ふれあいクラブを更に発展させ育成する。 | 文化系、スポーツ系とも年間を通じて活動する当該クラブの支援と、子ども夏祭りｉｎふくおか（８月）及び体験会（２月）を開催する。 | 文化系２クラブ、スポーツ系１２クラブが部活動支援を含め活動中。<br>福岡地区外の子どもたちも参加している。 |
| スポーツ | 福岡体育協会事業 | 体育協会をサポートすることにより、住民の健康増進とスポーツの普及を図る。 | 各種スポーツ大会（市体育大会・スポレク祭・バレーボール・ソフトボール）及び元旦マラソンを開催する。 | 各種スポーツ団体として１４クラブあり、その他の団体として５団体が活動している。 |
| 運営 | 図書室の充実と活用 | 地域図書館としての機能を充実させるとともに、利用しやすい図書室を目指す。<br>小中学生の帰宅待機の機能の充実。<br>読み聞かせなど図書ボランテイアの育成 | 本の整理を進めるとともに配置換えなどを行い、利用しやすい図書室にするとともに、引き続き保育園などと連携し、利用者の増加を目指す。児童書（絵本含む）の充実を図りながら本年も図書室まつりを開催し読書の普及に努める。 | 小中学生の学校からの帰宅時、保護者の迎え待ちの待機場所の役割も担っている。 |

# 平成30年度　公民館の重点方針・事業について

1　公民館名　蛭　川　公民館

2　重点方針

1. いつでも、だれでも、気軽に利用できる公民館に　…　地域づくり、人づくりの拠点を目指す
2. 楽しく学ぶ仲間づくりと生きがいづくりの場に　…　様々な学習活動・機会の企画運営と支援
3. 青少年が健全に成長できる環境づくりの取り組みを　…　学校・家庭・地域の連携を推進する
4. 人と人とがふれあう仲間づくり・健康づくりの場に　…　気軽に参加できる文化・スポーツ活動の企画運営と支援

3

| 重点事業 | 事業名 | ねらい | 概要 | 特記事項等 |
|---|---|---|---|---|
| 生涯学習 | 家庭教育【乳幼児学級】 | 親子でのふれあいを通して、子育てと仲間づくりを支援する。 | 月1回の乳幼児学級（あそびの広場）で、遊びや学びの場を通して親子のふれあい、親同士の交流を行う。 | 実情や要望を把握して、楽しく・役に立つ企画に努める。 |
| | 公民館講座 | 学習や交流を通して、仲間づくり、生きがいづくり、地域づくりへつなげる。 | 地域の絆づくり、健康づくり、文化教養講座を中心に、地域の学習要求に沿った学習機会を企画運営する。 | ヨガ、吹き矢、脳トレ、将棋、陶芸、文歴自散歩、布ぞうり…7講座 |
| | 青少年健全育成活動 | 学校・家庭・地域の連携を通して、青少年の健全育成活動を推進する。 | 推進市民会議支部を中心に、PTAや地域諸団体と連携し、青少年健全育成活動の取り組みを行う。 | なんでも塾支援、挨拶運動、夏祭り協力、成人を祝う会、見守り活動等 |
| | 高齢者学級【あじさい学級】 | 高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、学習活動を支援する。 | 月１回開催し、講演会、各種教室、軽スポーツ、地域探訪、研修旅行等を実施する。 | マレット、陶芸、公民館清掃、健康体操、寄せ植え、昭和歌謡等 |
| | なんでも塾【小学生対象】 | 様々な体験、学習、交流を通して、子ども達の健全な成長を支援する。 | 地域講師から、茶道、華道、着付、将棋、スポーツ、ホタル観察、星空観察、伝統文化等を学ぶ。 | 定期塾（月１×８回）、随時塾（テーマ毎に1～2回）を開講 |
| 文化 | 文化・芸能活動支援 | 蛭子座(公民館ホール)の活用を通して、文化・芸能活動の向上を図る。 | 文化協会主催の芸能祭（６月）・文化展（１１月）、伝統芸能保存会や文化団体の自主発表等に協力する。 | コンサート(チャリティー・スクランブル)、人形劇公演等も開催 |
| | 郷土資料保存伝承 | 文化財や遺産等の保護と後世への継承及び公開と活用を図る。 | 郷土資料館保存資料のデータベース化およびデジタルデータ化とその活用を進めていく。 | 郷土資料館の活用の仕方を地域住民に発信する。 |
| スポーツ | スポーツ大会<br>スポーツ教室・健康づくり | 様々なスポーツ活動の機会を通して、健康づくりや地域の交流を図る。 | 体育協会・なんじゃもんじゃクラブ、体育委員会と連携し地域スポーツやレクリェーションの運営を支援する。 | ひとつばたごウォーク（５月）、スポレク祭（６月）、健康づくりの日（１０月）、新春マラソン（１月）、各スポーツ教室等 |
| 運営 | 公民館運営委員会 | 地域の生涯学習の拠点としての公民館づくりの改善を進める。 | 公民館の活用について地域からの声を把握しながら利便性を図っていく。 | 地域づくりの観点で、公民館の指定管理について検討を進める。 |